



# 入船だより

横浜市立入船小学校  
校長 中村 公俊  
学校だより 3月号  
令和6年2月29日発行

## 1年間で大きく成長した子どもたち

学校長 中村 公俊

この1年間、子どもたちは様々なことに挑戦し、様々な場面で活躍し、大きく成長しました。昨年度に比べ、校外での活動も増え、生き生きとした子どもたちの姿をたくさん見ることができました。今号では、各学年の先生から見た、子どもたちの成長の様子を伝えたいと思います。

初めての小学校生活、学校のお兄さん・お姉さんに支えられながら、たくさんの経験を通して個人だけではなく、集団としても成長を感じた1年でした。どんな時も、「自分が」ではなく「みんなで」という考えが増えてきて、元気いっぱい・友達思いのクラスになりました。2年生もたくさんのことに挑戦して楽しい学校生活を送ってほしいです。(1年)

勉強が難しくなりました。自分たちだけではなければいけないことが増えました。そんな1年間でしたが、助け合って、とつても成長してこの1年間が終わろうとしています。この1年間の一番の思い出は野毛山動物園への遠足です。1年生のことを考えながら計画をたて、上級生としてひっぱりついでいこうとする姿がたくさん見られました。とても純粋でまっすぐな2年生。来年度の成長も楽しみです。がんばれ新3年生!!(2年)

「やるときはやる!」という学級目標の下、1年間を過ごしてきました。汐入小学校との音楽交流会、花月園公園遠足、社会科見学、いりふねコンサートなど、行事の際には特に力を発揮し、まさに「やるときはやる!」という言葉がぴったりな姿が見られました。来年度からは高学年の仲間入りです。自分のことをしっかりと行いつつ、下学年に優しく手を差し伸べてあげられる4年生になってほしいと思います。(3年)

あゆみ荘での宿泊学習やエコたわしの販売、調理実習、和太鼓の学習発表会など、全員で協力して作り上げる経験をおく積みむことができました。高学年は自分のことだけでなく、低学年の友達を気にかけて、優しく手を差し伸べていました。低学年は、そんな高学年の優しさに応えようと頑張る姿が見られました。3・4・5組の良さである、たてわり活動(学年をこえた活動)がよく見られた1年だったと思います。次の学年でもそれぞれの役割を果たしてくれることを期待しています。(3・4・5組)

4月のはじめに、「みんなで作る1年間」として、学年総合、10歳を祝う会、社会科見学などの学習や行事の実行委員を立てて、子どもたちのしてみたいことやアイデアを大切に過ごしてきました。どの実行委員も、一生懸命に考え、準備をし、作り上げることができました。高学年になると、全校のために動くことも増えます。この1年間の経験を生かし、子どもたちの更なる活躍を期待しています。(4年)

1年間、「最高V」を合言葉に、クラスのみんなの良さを見つけ、たくさんの学習と活動を通して、心も体もぐんと成長しました。誰にでも優しく、困っている人には自分から声をかけ、様々な人とのかかわりのなかで高学年としての頼られるような存在に一步近づけたように感じます。どんなことにも一生懸命取り組み、熱く優しい心をもった子どもたちの活躍がこれからも楽しみです。(5年)

最高学年として、リーダーとして自分ができること、自分がすべきことは何かを考え、実行してきた1年だったと思います。1年生のお世話、たてわり班活動のリーダー、当たり前前のことを当たり前前にできる、自分の役割を最後までやり遂げる。そんなことに難しさを感じながら、一生懸命取り組み姿も見られました。4月と比べて、一回りも二回りも成長したのではないかと思います。中学校では、これまで学んだ大切なことを生かして行ってほしいと思います。(6年)